喜多方市

ふるさとと共に歩む 喜多方を愛する人が集う

会津喜多方会

AIZU Kitakatakai

会報：第18号／令和8年10月1日発行／発行人：会長 冠木雅夫
編集：会報編集部会／事務局：080-5178-4191／印刷：八幡印刷

11月2日に集まりましょう

みなさま、今年の会津喜多方会総会・懇親会を、11月2日（月）午前11時半より、いつもの上野・東天紅で開催します。今年も長い猛暑でしたが、秋の一日を同郷の仲間と過ごし、疲れを吹き飛ばしてください。今年も喜多方は話題が豊富です。旧日中線跡のしだれ桜やレトロ横丁、夏祭りなどイベントはますます盛り上がり、土蔵を活用した街作りも進んでいます。今回も、祭囃子盆踊り保存会の演奏する懐かしいお囃子を楽しみ、みんなで会津磐梯山庄助踊りを踊りましょう。ふるってご参加ください。



8月15日夕、夏祭り最後を飾る「太鼓台競演」への出陣を待つ寺町の皆さん〈photo Flavio Gallozzi〉

令和8年度 会津喜多方会総会

11月2日(月) 上野・東天紅で開催

ご挨拶

魅力あるまちづくりを目指して



遠藤 忠一
喜多方市長

会津喜多方会の皆様におかれましては、日頃よりふるさと喜多方に対する温かいご支援とご協力をいただいておりますこと、改めて感謝申し上げます。

さて、本年は平成18年1月4日の市町村合併から20年を迎えました。新喜多方市としてスタート以来、新市の一体性の確立及び均衡ある発展を図るとともに、市全体の振興に努めてまいりました。

また、今年度は、4月1日から6月30日まで、福島県全域を舞台とした「ふくしまデスティネーションキャンペーン」が開催され、市内の観光関連事業者や関係機関・団体の皆様と連携を図りながら、3か月間にわたり17の特別企画と約20のイベントを展開し、多くの方々に本市を訪れていただきました。特に4月の「喜多方さくらまつり」期間中における日中線しだれ桜並木への入込数は、昨年度より4万4千人増加し、18万7千人に達するなど、喜多方の魅力をより多くの方々に届けることができたものと実感しております。このキャンペーン期間中に育まれた人々との交流やネットワーク、そして数々の成果をレガシーとして、これからも市全体の振興を図りながら、今後30年、50年と将来にわたり喜多方市が発展していけるよう、魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。

結びに、会津喜多方会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を心よりご祈念申し上げ、挨拶といたします。



「約束」の実現



佐藤 富次郎
会津喜多方
商工会議所会頭

高市政権は公約として掲げた国民との約束を守ることに躍起だ。来年4月からの実質飲食料品消費税率0％は、果たして経済活動を刺激するだろうか。中小事業所は人出不足、原材料高、人件費高騰等で経営に余裕が生まれていない。この施策を行えば更なる物価高を招く恐れはないかと杞憂する。だが、「約束を守る」は大切な用語で、その点では一理あるかもしれない。

私が商工会議所で目指す3つの指標は1.委員会・部会の活性化、2.交流人口拡大、3.新商工会館建設だ。これは会頭として会員に対する「約束」でもある。その部会、プロジェクト活動により市に対して要望した「ラーメン課」創設や喜多方ラーメン大使の任命、「ラーメンのまち喜多方担当・地域おこし協力隊」実現等々数々の実績を上げ続けている。さらに部会の視察をきっかけに「新・道の駅」建設提言という重要な陳情活動も行った。交流人口の拡大は人口減少が所与となった今、大切な案件である。幸い、喜多方には多くの観光ポテンシャルがあり近代型「新・道の駅」誕生が実現すれば「稼ぐ観光」に一歩近づけることができると確信する。最後に新・商工会館建設は積年の課題だ。築60年を超える現会館を私が会頭である時期に解決したいと思っている。その約束の実現も目前となってきた。

喜多方に縁（ゆかり）のみなさんが誇りに思えるようなまちづくりを行いたい。

令和8年度 会津喜多方会総会

◆日　時　令和8年11月2日（月）受付開始11時　総会11時半 懇親会12時15分～15時
◆会　場　東天紅上野本店 台東区池之端1-4-1　03-3828-5111
◆交　通　JR上野駅、メトロ日比谷線上野駅 不忍口より徒歩10分　メトロ千代田線湯島駅より徒歩3分
◆会　費　10,000円　年会費2,000円

●問い合わせ　事務局（伊関宏幹事長宅）
携帯080-5178-4191　Tel/Fax048-433-6869　E-mail Hiroshi.iseki51@gmail.com

ご挨拶

喜多方に魅せられた人々



冠木 雅夫
会津喜多方会会長

今年も皆さまと集う総会が近づいてきました。会員の皆さま、喜多方市、会津喜多方商工会議所はじめ、御支援を頂いている方々に厚く御礼を申し上げます。

8月15日には太鼓台競演にお邪魔しました。23台の太鼓台が練り歩く様は壮観です。こんなに若者が多いのかと驚きますが、聞けば子供のころから笛や太鼓に親しんだ若者が帰省しているとのこと。1996年に商工会議所の音頭で庄助踊りと同時に始まった子供まつりばやしが笛や太鼓に親しむ子供たちを育て続けているのです。

大混雑の中でイタリア人フォトグラファー、Flavio Gallozzi(フラヴィオ・ガッロッツィ)さんと再会し写真を撮り合いました。5年前に喜多方出身の恵実子夫人と来日、喜多方にスタジオを構えて活躍中です。喜多方の人と祭りが大好きとのことで、SNSで作品を発信しています。(表紙の写真もその1枚です)。

6月末のレトロ横丁では、旧山中油店の蔵をホテルに改装している木元葉菜さんに会いました。早稲田大学のゼミで喜多方を研究して大好きになり、事業を始めたという東京出身の元気な26歳です。

喜多方に魅せられた人々が街を活気付けてくれるのは素晴らしいことです。人を惹き付けるものが喜多方にはあるのでしょう。太鼓台競演もそうですが「新しい伝統」が次々に生まれているからです。会津喜多方会も、今後もそんな喜多方を応援していきたいと思っています。

令和7年度(2025年)事業報告

(当会の会計年度は9月1日から翌年8月31日まで)

総会・懇親会の開催

会津喜多方会の総会・懇親会は11月1日(土)に東天紅上野店において開催されました。喜多方市の遠藤忠一市長、会津喜多方商工会議所の佐藤富次郎会頭はじめ来賓26名、会員75名、地元祭り囃子保存会10名や関係者を含め総勢114名で盛大に行われました。

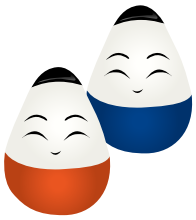
役員・幹事会の開催

9月27日、2月7日、6月13日、いずれもお魚総本家新宿西口店にて開催しました。

【関係機関・団体との連携】

令和7年度から令和8年度にかけて

- 東京福島県人会新年会、秋季総会
- 会津会総会、新年会
- 在京西会津会総会
- 在京きたしおばら会
- 首都圏桜壇同窓会総会
- 会津赤べこ会春・秋総会
- 喜多方夏祭りに協賛(3万円)。8月15日太鼓台競演集合会場に応援訪問
- 商工会議所扱いの地酒販売への協力
- しだれ桜プロジェクトへの賛助(2万円)
- 笹正宗酒造店全焼に伴う支援金(10万円)
- 旧山中油店跡、蔵の宿プロジェクト支援への賛助(3万円)



令和8年度(2026年)事業計画

①11月2日(月)に会津喜多方会総会・懇親会を東天紅上野店にて開催します。

②喜多方夏祭りへの協賛を行います。

③喜多方観光物産協会の首都圏開催のイベントに参加します

④喜多方商工会議所扱いの喜多方地酒販売への協力をします

⑤喜多方市及び関係機関、在京ふるさと会や同窓会などの団体と連携交流協力をはかります。

会津喜多方会役員名簿

(令和8年10月1日現在)
(敬称略、候補も含む)

☆顧問
五十嵐 清人
遠藤 和徳
小山 忠男
齋藤 平二
武田 恵美子
田部 勉
渡邊 衛

☆相談役
冨木 みゑ

☆会長
冠木 雅夫

☆副会長
石嶋 正志
石綿 崇志
南出 京子
山田 春美
山田 勝

☆幹事長
伊関 宏

☆幹事長代行(会計担当)
大竹 正直

☆副幹事長
高橋 雅子
永木 栄子

☆監事
大竹 英一
小関 哲子

☆幹事
秋葉 芙美子
秋元 美智子
穴澤 ミヨ子
岩田 千穂
内山 由美子
宇津木 繁
大川原 千保
小野瀬 順治
北村 三百子
齊藤 三郎
斎藤 實
鈴木 幹男
滝沢 雄二
冨田 陽子
夏井 淳一
新居崎 千津子
西村 久子
満田 達夫
矢部 セツ子
山口 喜史
若菜 克彦
渡部 武

☆地元幹事
小荒井 浩
大場 悟
伊藤 博之
東海林 和宏
渡部 洋一
樋渡 直樹
岩田 恒典
五十嵐 隆
甲斐 修一

☆地元事務局
佐藤 まゆみ

みんなで楽しい時間を過ごしました


初参加の方々を交えて


受付前で世話役一同記念撮影


地元の品々に人だかりが


第二部 懇親会の司会は岩田千穂さんと大竹英一さん


遠藤忠一・喜多方市長



開会前の会場


見事当選、
おめでとうございます


佐藤富次郎・
会津喜多方商工会議所会頭


国分健児・
福島県東京事務所長


秋山五郎・
AML植物研究所社長


お楽しみの抽選会

大盛り上がり、昨年の総会・懇親会

令和7年度の会津喜多方会の総会・懇親会が11月1日(土)に東京・上野の東天紅上野本店で盛大に開かれました。会員、来賓など合わせて約114人が参加し、会津喜多方祭囃子盆踊り保存会の演奏による「会津磐梯山庄助おどり」は例年に増して盛り上がりました。

〈写真撮影＝満田達夫さん(幹事)、樋渡直樹さん(喜多方市広報広聴係長)。ウエブサイト掲載の動画は宇津木繁さん(幹事)と樋渡さん〉

来賓として喜多方市の遠藤忠一市長、大場悟産業部長、会津喜多方商工会議所の佐藤富次郎会頭、五十嵐敦副会頭、佐藤まゆみ専務理事、樟山敬一観光物産協会会長、国分健児福島県東京事務所長ほか大勢の皆さまが参加されました。

第1部の総会は山田春美さんの司会、山田勝副会長の開会の辞のあと、冠木雅夫会長の挨拶では4月に亡くなった元NHKの須磨章さんを悼みました。須磨さんは1975年、新日本紀行「蔵ずまいの町」で「蔵の街きたかた」を全国に紹介、ラーメンの街としても注目されるきっかけを作った喜多方の大恩人です。

続いて石綿崇志副会長が議長を務め、伊関宏幹事長、大竹正直会計担当の報告による令和6年度の決算、7年度の予算、事業計画などが承認されました。

岩田千穂さん、大竹英一さんの司会による懇親会では(株)AML植物研究所の秋山五郎社長がスピーチ、喜多方市豊川町で稼働する植物工場での高機能野菜の栽培を披露し注目を集めました。来賓では喜多方応援大使の(株)麺食会長・中原明さん、元クレディセゾン役員の横井千香子さん、元上野駅長の太田稔さんらも参加しました。

乾杯の音頭は元すずかけ会会長の南出京子さん(副幹事長)。大川原千保さん司会によるお楽しみ抽選会では、美味しい喜多方の銘酒など地元名産が盛りだくさんで、当たった方は大喜びでした。

最後は懐かしい太鼓台のお囃子の演奏。続いての会津磐梯山では、参加者、来賓の多くが踊りの輪に加わり、大いに盛り上がりました。

最後は恒例になった田部勉顧問の音頭で万歳三唱。88歳とは思えぬ大音声に会場の皆さんも唱和し、3時間余りの会を終えました。

東京福島県人会

■会　　長　鈴木 正晃
■副 会 長　福井 トシ子、渡部 恒雄、森 洋一、冨田 陽子
■理 事 長　原山 伸之
■副理事長　松井 純子、久保田 則男、箱崎 一彦、鈴木 真由美

(事務局)
☎ TEL (03)5212-9050
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館12階 福島県東京事務所内
○県出身者及び、ゆかりの方ご入会をお待ちしております。

会津会

会　長　町野 英明
副会長　山内 秀一
〃　北村 邦雄
幹事長　奥田 重彦
ほか会員一同

事務局／東京都文京区千石一―四―一六
(公財)会津学生寮内
☎・FAX 〇三―三九四六―八一五九

○会津出身者及び会津に関心のある方の入会を歓迎します。

令和7年 総会・懇親会ハイライト



会場一杯に広がって踊る参加者の皆さん。お囃子も最高潮



恒例の祭囃子が始まります



田部さんの音頭で万歳三唱



ハッピは市と会議所さんより



さあ会津磐梯山の始まり



踊りは会場3周目です



演奏も乗ってきました

祝　会津喜多方会

貴会の益々の御発展を
祈念申し上げます。

創業89年

新田管工株式会社

会　長　新田　興助（西会津町出身）
社　長　新田　洋太郎

横浜市鶴見区佃野町9－3

産業プラントと都市ビル設備
（エネルギー・環境）　（空気・水・快適空間）
配管工事専門会社

（TEL）045－571－3681
（FAX）045－571－3606
https://www.nittakankou.co.jp
E-mail：nittak@topaz.ocn.ne.jp

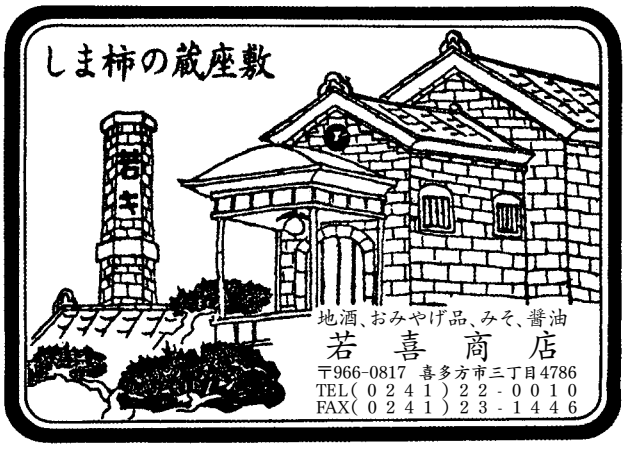
令和7年度会津喜多方会総会ご出席の皆様（順不同。敬称略）

ご来賓の方々（肩書きは開催時のものです）

遠藤　忠一	喜多方市長
佐藤　富次郎	会津喜多方商工会議所会頭
五十嵐　敦	会津喜多方商工会議所副会頭
佐藤　まゆみ	会津喜多方商工会議所専務理事
大場　悟	喜多方市産業部長
伊藤　博之	喜多方市企画調整課長
東海林　和宏	喜多方市商工観光課長
渡部　洋一	喜多方市企画調整課秘書広報室長
樟山　敬一	喜多方観光物産協会会長
国分　健児	福島県東京事務所長
金田　充世	福島県東京事務所企業誘致課主任主査
渡部　恒雄	東京福島県人会副会長
北村　邦雄	会津会副会長
大越　康弘	会津赤べこ会代表
佐々木　恵美子	会津赤べこ会事務局長
渡部　徹夫	首都圏桜壇同窓会長
星　敬治	喜多方桐桜高校同窓会関東支部副支部長
新田　興助	在京西会津会長
柄本　廣央	山都町ふるさと会会長
廣田　潔	会津坂下会会長
小椋　正幸	在京きたしおばら会会長
中原　明	喜多方応援大使　（株）麺食会長
五十嵐　稔	福島民報新聞社東京支社長
太田　稔	喜多方応援大使　第40代上野駅長
横井　千香子	喜多方応援大使
秋山　五郎	（株）AML 植物研究所代表取締役社長

会員参加者（50音順・敬称略）

秋葉　美美子	伊東　光晴	小田橋　真理子	佐藤　美代子	鶴巻　百合子	南出　京子
秋元　美智子	井上　正光	加藤　タツ子	島崎　庸子	冨田　陽子	宮前　よし子
穴澤　ミヨ子	猪俣　利光	冠木　哲男	鈴木　葉子	永木　栄子	宗像　健次郎
荒川　洋	入谷　加代子	冠木　雅夫	高島　典子	夏井　信夫	矢部　セツ子
淡路　久里	岩田　善治	北島　喜彦	高橋　暲子	新居崎　千津子	矢部　雄一
飯田　修	岩田　千穂	北村　三百子	高橋　雅子	西村　久子	山田　春美
五十嵐　隆	内山　由美子	桑形　八重子	滝沢　雄二	橋本　憲治	山田　勝
石嶋　正志	宇津木　繁	小関　哲子	武田　恵美子	橋本　クメ子	吉田　育代
石綿　崇志	荏原　正明	小谷　信子	棚木　正	蓮沼　良一	渡部　和夫
伊関　宏	大川原　千保	齋藤　義光	田部　勉	播田　良美	渡部　静子
磯部　泰司	大竹　英一	佐々木　育恵	千葉　光男	檜澤　龍二	
伊藤　銀次郎	大竹　正直	佐瀬　常雄	塚本　親	星　喜代治	
伊藤　冨勝	大八木　和彦	佐藤　篤	辻田　サト子	満田　達夫	



若喜商店は宝暦五年（1755年）創業。

建物は「国登録有形文化財」

「若喜天然醸造醤油」醸造元。

なつかしい昭和の店「若喜．昭和館」

「赤べこ・手作り体験教室」実施

「レトロ」な「おみやげ店」

会員欠席者（年会費払込者・50音順・敬称略）

芥川　俊佐	斎藤　三郎	梨本　佐津子
荒川　光久	齋藤　昌三	夏井　淳一
五十嵐　昭平	齋藤　實	西川　文恵
井上　美代子	佐久間　雄一郎	二瓶　ヨシ子
遠藤　和徳	佐藤　静夫	秦　秀雄
大角　尚子	佐藤　雄一	平田　三智也
尾之上　昭子	志賀　英信	堀越　玲子
小野瀬　順治	庄司　達雄	満山　明子
小山　忠男	菅野　睦子	宮内　栄喜
風間　常行	鈴木　則子	宮澤　嘉延
北見　紘一郎	鈴木　幹夫	横澤　典男
北見　将造	高島　恭子	渡部　武
黒澤　孝子	手代木　哲	渡邊　衛
高麗　正規	冨木　みゑ	

会津喜多方会　第49期決算報告
（自 令和7年9月1日～至 令和8年8月31日）

1　貸借対照表（令和8年8月31日 現在）

単位:円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金	108,447	余剰金	539,366
郵便振替預金			
通常郵便預金	430,919		
定額郵便預金			
定期預金			
合計	539,366	合計	539,366

2　収支計算表（自 令和7年9月1日～至 令和8年8月31日）

単位:円

収入の部		支出の部	
前期繰越金	527,225	総会･懇親会経費	1,126,721
年会費	208,000	会報発行費	248,812
総会・懇親会費	740,000	謝礼・協賛金	169,400
祝儀・寄付金	369,000	印刷費	67,836
来賓・懇親会費	260,000	通信運搬費	36,505
広告料	245,000	事務所費	30,000
災害支援募金	100,000	事務用品費	13,560
受取利息	1,014	災害支援費	200,000
		郵便振替･支払手数料	18,039
		その他	0
		支出計	1,910,873
		次期繰越金	539,366
合計	2,450,239	合計	2,450,239

上記の通り報告いたします。　令和8年9月10日

会長　冠木雅夫
幹事長　伊関宏
会計　大竹正直

上記について監査した結果、適法適正なることを認めます。

令和8年9月10日

監事　大竹英一　（大竹）

監事　小関哲子　（小関）

令和7年度祝儀・寄付金一覧

ご芳名（敬称略）	所属名	金額（単位:円）
中原明	喜多方応援大使（株）麺食会長	30,000
伊東光晴	（株）大東出版梱包会長	30,000
新田興助	在京西会津会会長	10,000
渡部徹夫	首都圏桜壇同窓会長	10,000
小椋正幸	在京きたしおばら会会長	20,000
柄本廣央	山都町ふるさと会長	10,000
冠木雅夫	会津喜多方会会長	20,000
石綿崇志	会津喜多方会副会長	10,000
山田勝	会津喜多方会副会長	8,000
伊関宏	会津喜多方会幹事長	20,000
渡邊衛	会津喜多方会顧問	8,000
小山忠男	会津喜多方会顧問	50,000
冨木みゑ	会津喜多方会相談役	10,000
淡路久里	会津喜多方会会員	40,000
山田春美	会津喜多方会会員	10,000
齋藤實	会津喜多方会会員	10,000
小野瀬順治	会津喜多方会会員	10,000
大川原千保	会津喜多方会会員	10,000
北村三音子	会津喜多方会会員	10,000
尾之上昭子	会津喜多方会会員	10,000
庄司達雄	会津喜多方会会員	10,000
高麗正規	会津喜多方会会員	8,000
冨田陽子	会津喜多方会会員	5,000
鈴木葉子	会津喜多方会会員	5,000
秦秀雄	会津喜多方会会員	3,000
遠藤操	会津喜多方会会員	2,000
	合計	369,000

会津喜多方会　第50期予算案
（自 令和8年9月1日～至 令和9年8月31日）

第50期予算案（令和8年9月1日～令和9年8月31日）

単位:円

収入の部		備考
前期繰越金	539,366	
年会費	330,000	支払予定者 110×@3000=330000
総会･懇親会会費	800,000	会員参加予定者 80名×@10000=800000
祝儀･賛助金等	250,000	
来賓･懇親会費	250,000	来賓予定者 25名
広告協賛金	290,000	喜多方市役所･会津喜多方商工会議所 他
当年度収入合計	2,459,366	

支出の部		備考
総会･懇親会会費	1,200,000	懇親会経費 970,000円 酒類代 50,000円　お土産代 50,000円 イベント経費 130,000円
会報発行費	340,000	会報（18号）製作費（600部）280,000円 会報発送手数料 60,000円
謝礼・賛助金	150,000	喜多方夏祭り 30,000円　福島県人会 30,000円 広告掲載 10,000円　会津会･西会津会 30,000円 Webサイト 30,000円　しだれ桜 20,000円
印刷費	70,000	総会案内状･ハガキ･シール印刷 60,000円 その他 10,000円
通信運搬費	50,000	総会案内ハガキ代 40,000円 広告主様宛送付代 5,000円 その他 5,000円
事務所費	30,000	事務局経費
事務用品費	30,000	インクトナー･用紙代 30,000円
会議費	20,000	総会打合せ 20,000円
郵便振替手数料	20,000	年会費振替手数料他 20,000円
その他	10,000	慶弔費等
当年度支出合計	1,920,000	
予備費	539,366	
合計	2,459,366	

坂内（ばんない）

会津・喜多方ラーメン

ばんない

坂内食堂

（朝7時より）

福島県喜多方市御清水7230 ☎0241-22-0351

商工会議所主導で発足した会津喜多方会 ―発足当時の記録から―

初期の写真や資料を募集します！

会津喜多方会は来年２０２７年、創立50周年を迎えます。来年の会報には発足当時からの初期の写真を掲載したいと考えていますが、残念ながら見当たりません。お心当たりの方はお知らせ下さい。今回はそのヒントとして、当時の記録などを紹介します。

会報の「創刊号」（第1号）は名簿を除いた一部を当会ウエブサイトに掲載しています（写真①は表紙）。発行は設立総会（昭和52年11月）の翌年の8月でした。商工会議所が保管しているコピーからの転載です。

市内4高の同窓会に呼びかけ

会は商工会議所が音頭をとり、当時の4高校（喜多方、喜多方女子、喜多方工業、喜多方商業）の同窓会に呼びかけて結成に至りました。在京側で中心になったのが初代会長の渡部辰巳氏でした。最初の公式会合は昭和52年6月3日に商工会議所で開かれた「在京喜多方会結成懇談会」で「市内各校長、同窓会長と懇談」とあります。

そして9月8日、銀座東急ホテルで「会津喜多方会（仮称）結成準備懇談会」が開かれ、発起人代表に渡部氏と4高校代表の4名、事務所を星二郎氏事務所と決定しました。（写真②）準備会には会議所の会頭、専務が上京して参加しました。

準備段階では地元紙も報じています。6月13日付の福島民友新聞の会津版には〈東京に『会津喜多方会』〉という見出しで、商工会議所で開かれた6月3日の準備会の記事がありました（写真③）。会を新設する理由をこう記述しています。〈喜多方出身者の在京者も会津会に入っている人は多いが、その大半は功なり名を遂げた人たち。このため中、高卒でも、若くとも気軽に入会でき、知り合いが多い方部単位で会を結成してほしいという声が出たため、地元でまず骨子づくりをすることになった〉

「会議所だより」「広報きたかた」で

「会議所だより」では会の発足に向けた9月の準備懇談会の開催を予告しています。喜多方市の広報誌「広報きたかた」も10月1日号で案内記事を出し、市内在住の人もできることや、首都圏の知人に教えてほしいと呼びかけています。参加者募集の窓口は商工会議所と市商工観光課とありました（写真④）。

いよいよ発足総会が11月23日に銀座東急ホテルで開かれました。その模様は「会議所だより」の翌年11月5日付に出ています（写真・次頁）。あっさりと短い記事ですが、会場の写真が出ているのは貴重です。

年度の「事業計画」として

会報第2号は設立から大分経った創立5周年を前にした昭和57年8月に発行されています。その中で商工会議所会頭の小野寺弥吉氏が設立の経緯を記しています。

〈時の会頭、山中時一氏が「首都圏とふるさととの交流を深めコミュニケーションを密にすれば、地域の振興につながるのでは」と、昭和52年度の事業計画に取り入れを検討、首都圏の有志の方々と相談し準備に入った。その後、山中会頭が急逝、その遺志を継いで、初代会長渡部辰巳氏を中心に結成にこぎつけた〉というものです。年度の「事業計画」というのは大変な意気込みでした。

会報はその後発行されず、25年以上の空白を経て「第3号」として復活したのが平成20年（２００８年）、加藤善之会長の時でした。以降、会報は毎年発行され、総会・懇親会などの写真、役員の顔ぶれなどが分かるようになりました。会報が発行されない時期には、会合で式次第や参加者名簿などの資料が配付されたとのことですが、これらの資料も探しています。

ということで、来年の50周年に向けて、初期からの写真や資料など、お持ちの方がおられましたら、役員まで一声掛けてください。会報やウエブサイト、スライドなどで紹介したく思います。

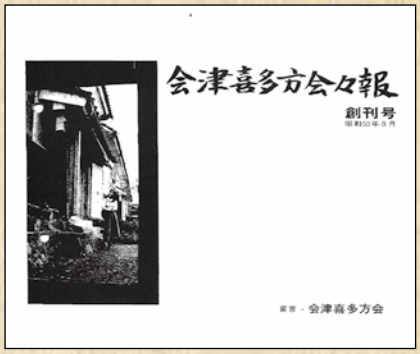
（記・冠木雅夫）


(3)　昭和52年９月５日

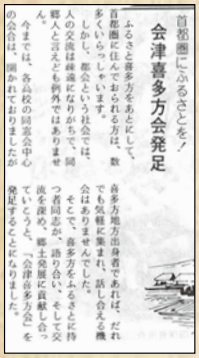
首都圏に『会津喜多方会』
銀座東急ホテルで
結成準備懇談会

喜多方地方出身の首都圏在住の人々と相互交流の機会を設け、又、よりよいふるさとづくりに精進する人々との交流を深め郷土発展に貢献し合って行こうと当商工会議所が中心になり「会津喜多方会」（仮称）を発足させるべく市内高校同窓会関係者等とその準備作業を進めている。地元での骨子作業と平行に主都圏在住者との今後の計画等本格的な組織づくりの話し合いを持つ為、９月８日（木）午後６時東京銀座の東急ホテルで結成準備懇談会を開催することになっている。

②会発足への準備懇談会を伝える「会議所だより」昭和52年9月5日号



①会報創刊号表紙　昭和53年8月発行


首都圏にふるさとを！
会津喜多方会発足


会津版
東京に「会津喜多方会」
商議所提唱、地元で準備会
11月結成めざす
気軽な入会を呼びかけ

④会の発足を知らせ参加を呼びかける「広報きたかた」昭和52年10月1日

③会発足への動きを伝える「福島民友新聞」昭和52年6月13日

文具・事務機の総合商社
アスクル代理店　ふるさとの皆様お申込み下さい
有限会社 松本屋
〒966-0817 喜多方市字３丁目4791
TEL. 0241-22-0362　FAX. 0241-24-4768
風間 義之

お客さまと共に物流を考える
営業倉庫　株式会社 大善
本　社　福島県喜多方市字西町 2840-1
TEL.0241-23-2275　FAX.0241-21-1131

◆総合物流業
DAIZEN MYANMAR Co., Ltd
PLOT No. C-13
THILAWA SPECIAL ECONOMIC ZONE
A YANGON REGION, MYANMAR
TEL : 090-8610-4324
E-Mail : t-yabe@dzn.jp

私と会津喜多方会

顧問　渡邊　衛
［会長（2016-2017）
幹事長（2008-2015）］

初代会長に誘われ設立総会へ

会津喜多方会を中心になって作った人は熱塩加納村の出身の渡部辰巳さんでした。最初の会長です（当時、早稲田大学理事、庶務部長）。その人が私設の学生寮（会津青雲寮＊注1）を運営していたんです。昔の早稲田大総長の自宅だった家を戦後に大学から買い受けて作ったと聞いています。私は東京に出て来て1年目は兄の家にいましたが、兄が子供ができるというので、2年目から渡部さんの寮に入りました。寮生は24、5人。会津が中心で県外からも来ていました。田舎の若者を援助しようという気持ちだったと思います。

渡部辰巳さんにはその後も世話になって、私が30そこそこのころ「今度会津会に対抗して喜多方会というものを作るから、お前も来いよ」と言われ、第1回の設立総会（1977）に出席したわけです。喜多方会は喜多方の四高校を卒業した人たちが中心でした。野沢からも熱塩からもみんな入っていました。第1回には若い人はあまりいなかったと思います。やっぱり会を作った人の知り合いだとか、横の関わりで集まっていましたから。私は30そこそこだったので若かったと思いますよ。私のいとこも若い方でした。

初代会長の渡部さんは、会津会でも川島廣守さんが会長の時分から副会長をしていましたね。喜多方会の会長になってからも会津会の副会長を続けていました。

〈＊注1　会津喜多方会会報第2号掲載の渡部辰巳氏の寄稿「5周年に際して」によると、会津青雲寮は渡部氏が終戦後に自宅近くに建て、寮の卒業生は150名余、第1期卒業に渡部恒三氏がいたという〉


(5)　昭和53年1月5日　　会議所だより

ふるさとの
ふれあいを深めよう
『会津喜多方会発足』

〝ふるさと〟喜多方地方の想い出や近況などを語り合い心のふれあいを深めそれが郷土の振興、発展にもつながるものと会議所の呼びかけで結成準備を進めていた「会津喜多方会」の設立総会は東京銀座の東急ホテルで過般開かれ首都圏に住む喜多方地方出身者と連帯を強めることになった。

主な役員は次の通り
会長＝渡部辰巳、副会長＝小野喜平、東条儀、荒川正、横田幸、幹事長＝星二良の各氏。

尚「会津喜多方会」の事務所は、千代田区丸の内三丁目四番一号新国際ビル六三〇区星法律事務所内に置くことに決めた。

設立総会の模様を伝える「会議所だより」
昭和53年1月5日号

祭囃子に来てもらった経緯


2026年7月、事務所で

祭囃子はかなり早い段階から来てもらいましたね。来てくれたのは会津会が先だったんですよ。会津会の役員になって「喜多方から何か演し物ないか」って言われた。それで蔵太鼓がいいと思って、中心でやっていた高校同期の松本屋の風間常義君に相談したんです。でも人数が多くて大変だというので、今度は祭り囃子盆踊り保存会の世話人の風間勝さんと飲みながら話したわけです。それで、会津会に1回、祭囃子に出てもらいました。でも会津会は喜多方からばかり毎回というわけにはいかないんですよ。それで喜多方会でもやろうかということになったのではないかな。（＊注2）会津会でやって地元の喜多方会でやらないのはおかしいという話だったかもしれない。それで喜多方会に祭り囃子盆踊り保存会に来てもらい、盆踊りもやるようになりました。みんな田舎の子供の時分を思い出しながら、楽しむようになりましたね。

〈＊注2　祭り囃子盆踊り保存会の風間勝さんによると、会津会に呼ばれた時には祭り囃子だけで、磐梯山は踊らなかったとのこと。その後、喜多方会での初演奏が1991年。皆で磐梯山も踊った〉

楽しく、心の拠り所になる会に

私の前の幹事長、五十嵐清人さんは、会計検査院の第3局長をされた方です。脳梗塞で倒れた後も、毎年車椅子で見えていました。娘さんが車で連れてきて。喜多方会に対する思い入れが強かった人ですね。

五十嵐さんの後、急遽、幹事長代行（2008年）、その後幹事長となりました。私自身は、喜多方会について、何をやりたいとかそういうのではなく、親睦会なんだから楽しくやらなけりゃ意味がないという大前提はありましたね。役員の打ち合わせ段階で嫌な面も見てきましたから、そういうことだけはないようにとね。ふるさとの皆さんが年に1回集まって、和やかな、やっぱり自分たちが育ってきた田舎のことを思い出してもらったり、語り合ったり、楽しくやればいいんじゃないのかなと。

年に1回懐かしい人と会え、東京に出てきた人たちの、心の拠り所になるような会であればいいかなって思いますね。

（談、構成＝冠木雅夫）

渡辺衛税理士事務所
法人税、所得税、消費税、相続税のご相談
〒107-0052
東京都港区赤坂2-16-21 栄屋ハウス102号
渡　邊　　衛
電話 03-6459-1110　FAX 03-6459-1161

すべては
ふるさとのために
喜多方ラーメン
あじ庵食堂
AJIAN SHOKUDO
喜多方市豊川町米室
字アカト5246-54
☎0241-23-6161

会津・喜多方から
豊かな未来を
次の世代へ

AML
Aizu・Mountain・Lake
農と食で、人と地域の
未来をつくる

喜多方から、食卓の未来を。

農と食のイノベーション × 地域創生

独自の栽培技術から生まれた、おいしい高機能性野菜「AML健康野菜」





株式会社 AML植物研究所 | 会津喜多方工場 福島県喜多方市豊川町高堂太字免田964-1 | aml-pl.co.jp



ヨシノガワ
会津 吉の川
令和8年全国新酒鑑評会金賞受賞
吉の川酒造店
喜多方市字一丁目4635 Tel. 0241-22-0059

きたのはな 喜多の華
蔵の町銘酒
吟醸 本醸造 喜多の華
純米酒 蔵太鼓
醸造元
合資会社 喜多の華酒造場
代表社員 星 敬志
根性込めた酒造り
〒966-0862 福島県喜多方市字前田4924番地
TEL.0241－22－0268
FAX.0241－22－0268

あさひや
喜多方生ラーメン よもぎめん
喜多方っ子 蔵太鼓 本舗
有限会社 朝日屋食品
代表取締役 蓮沼 超男
〒966-0802 福島県喜多方市押切南二丁目16番地
TEL (0241) 22-1125 (代表)
FAX (0241) 25-7746

毎日・福島民報・日経・産経
スポニチ・サンスポ
(有)蔵見世
喜多方新聞販売センター
レトロ横丁商店街 TEL 0241-22-1723

くすり・化粧品・銃砲火薬類
瀬文
創業寛保元年
お守りします あなたの美と健康
300年の力で…
(有)冠木薬店
レトロ横丁商店街 TEL 0241-22-0053

喜多方 坂内(ばんない) ラーメン
株式会社 麺食
〒140-0011 東京都品川区東大井2-13-8 ケイヒン東大井ビル10F TEL：03-3298-6161

「日本発」のゲームが初のファイナリストに
災害医療現場での判断を体験
NYでのコンテストに挑戦

夏井淳一



イベント会場の入口での筆者

私は喜多方市の出身で、現在は東京でバーズ・ビュー株式会社を経営しており、医療や福祉の現場をITで支える仕事をしています。また、会津喜多方会ではWebサイト制作を担当しており、ふるさと喜多方とのつながりを大切にしながら活動しています。

■ゲーム通じ社会課題を解決

今回、私が開発に携わり、会社で販売している災害医療ボードゲーム「アンクラ!!」が、Games for Change（G4C）Awards 2026のボードゲーム部門でファイナリストに選ばれました。これを受けて、私はアメリカ・ニューヨークで開かれたG4C festivalに参加しました。G4C festivalは、ゲームを通じて教育、医療、防災、環境などの社会課題の解決を目指す世界的な催しです。基調講演、ワークショップ、表彰式、そしてネットワーキングなど、2日間にわたるプログラムです。

私がこのコンテストに挑戦しようと思ったのは、災害医療というテーマは日本だけでなく、世界にも通じるものだと考えたからです。地震、洪水、大きな事故などは、どの国でも起こり得ます。その時、限られた時間や情報の中で、どう判断し、どう協力するかは、国を越えた大切な課題です。

■判断は対話と協力で

「アンクラ!!」は、災害医療の現場で求められる判断を、対話と協力を通じて体験するボードゲームです。大きな事故や災害が起きた時、誰を先に助けるか、どう仲間と情報を共有するかを、プレイヤー同士で話し合いながら進めます。正解を暗記するゲームではありません。迷いながら考え、協力し、判断することを学ぶゲームです。医療や災害対応の専門家にも監修していただき、学会での展示や多くのテストプレイを重ねて作ってきました。

G4C festivalは、2026年7月21日から22日にかけて、ニューヨークの「ザ・グラスハウス」という会場で開催されました。会場には、世界各国からゲーム制作者、教育関係者、医療関係者、研究者などが集まり、社会に役立つゲームについて熱心に意見を交わしていました。

「アンクラ!!」は惜しくも大賞は逃しましたが、G4Cのボードゲーム部門で日本発の作品がファイナリストに選ばれたのは初めてです。喜多方出身の私にとって、日本で作ったゲームが世界の舞台で評価されたことは、大きな喜びでした。

会場では、ファイナリスト作品として「アンクラ!!」の展示を行い、世界中から来た参加者に実際にプレイしていただきました。テーブルを囲み、カードやボードを見ながら、参加者同士が真剣に相談する様子を見ていると、このゲームのテーマが海外の方々にも伝わっていることを実感しました。言葉や文化は違っても、災害時に人を助けるために考えること、仲間と協力することの大切さは共通しているのだと感じました。

■言葉や文化の違いで課題も

現地では、海外の方々から具体的な反応もいただきました。アメリカの大学病院で研修を担当している方からは、医療安全やチームづくりの研修にボードゲームが役立つという声がありました。フランスのゲーム関係者からは、災害は世界中で起きており、災害医療を学ぶゲームは多くの国で必要とされるはずだと言われました。日本で作ったものでも、伝わる内容は世界に届くのだと感じました。

一方で、課題も見えました。英語で遊べる製品や説明資料、海外で紹介してくれる協力者、効果を示すデータなどは、まだ十分ではありません。海外に届けるには、完成した日本語版を後から翻訳するだけでは足りないのです。作り始める段階から、言葉や文化の違い、説明の仕方、販売の方法まで考える必要があります。今回の経験を通じて、社会の役に立つ仕事をこれからも続けていきたいという思いを、あらためて強くしました。これからも、医療や防災をはじめとする課題に取り組み、現場の知恵や思いを、人が学び合える形にして届けていきたいと思います。

（写真：筆者提供）







上：ゲームについての講演が行われている会場
左下：ボードゲームをイベント参加者とプレイ
右下：ファイナリストに残った「アンクラ!!」の展示・試遊ブース

検索 荒川産業(株) アマルク
営業時間 8:00-17:00（日曜／祝日除く）
不用品・遺品整理 家屋解体 空き家相談
荒川産業に全てお任せください
荒川産業には、遺品整理、家屋の解体、不動産などあらゆる問題を解決する
プロフェッショナル がおります！
複数の企業を介さなくても、多様なお困りごとをまとめて対応いたします！
100年前からリサイクル アマルク 荒川産業(株) 〒966-0056 福島県喜多方市屋敷免3960
不用品担当：080-3334-8854（田部）
不動産担当：080-4713-3800（荏原）
一般建設業：福島県知事 許可（般-3）第12081号 特定建設業：福島県知事 許可（特-3）第12081号



昔懐かし
手造り駄菓子製造元
老舗 鳴海屋
佐藤ミサ子
〒966-0819 喜多方市字一丁目4580
TEL.（0241）23-1701

地域の発展と振興に全力で貢献します！ 喜多方市ふるさと振興株式会社
喜多方事業所：道の駅 喜多の郷・蔵の湯・ふるさと亭・蔵の里・市美術館
TEL. 0241-21-1139 FAX. 0241-21-1157 HP http://www.furusatosinkou.co.jp
熱塩加納事業所：三の倉スキー場
TEL. 0241-36-2071 FAX. 0241-36-2071
山都事業所：そば資料館・そば伝承館・いいでのゆ
TEL. 0241-38-3000 FAX. 0241-38-3000 HP http://www.sobanosato.jp
高郷事業所：ふれあいランド高郷・カイギュウランドたかさと
TEL. 0241-44-2888 FAX. 0241-44-2890 HP http://www.frtspa.co.jp



☆喜多方笑顔一番店☆

★喜多方★
★日本酒専門店★

喜多方酒蔵場
KITAKATA SHUZO-BA

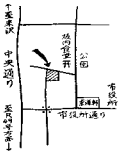
株式会社 しんたに
福島県喜多方市松山町村松字石田1452-2
TEL:0241-23-2411
URL：https://fresh-shintani.net

感謝



割烹寿司
おおた
おゝ田

喜多方市御清水
TEL 24－5075
FAX 23－3034



BAR あんくる uncle

マーケット通り東口(2丁目4650)
電話 080-8219-1790

おぐに薬局

福島県喜多方市字江中子4184-4
TEL 0241-21-9669 FAX 0241-21-9662

株式会社 大東出版梱包
株式会社 大東梱包運輸

代表取締役 会長
伊藤 光晴

倉庫・商品管理・梱包・発送
陸運局認可/関自貨2第2933号
一般区域貨物自動車運送業

〒351-0025
埼玉県朝霞市三原5-10-41
TEL:048-465-2004㈹
FAX:048-465-9617

福島県知事許可(般-特-4)第27695号
全国鐵構工業会認定工場 総合建設業・一級建築士設計事務所
“ 技術と信用で地域開発に貢献する ”

小野瀬工業株式会社
代表取締役 小野瀬 賢治
建設部・鉄工部・水道部
本 社/喜多方市字谷地田７４３７番地 ☎(0241)22-1607
堂畑工場/喜多方市豊川町高堂太字免田1211-1 ☎(0241)22-6108
若松工場/会津若松市亀賀一丁目１番地の７ ☎(0242)22-4010

三菱自動車販売代理店
民間車検場
小野瀬産業株式会社
オノセモーター
喜多方市関柴町上高額字境田651-3 ☎(0241)22-1378

カフェレストラン
Calendrier カランドリエ TEL・FAX0241-25-7272

小野瀬体育館 諸会合・集会・臨時店舗
TEL・FAX0241-25-7272

街の中心に位置し、観光やビジネスに最適です

グリーンホテル

〒966-0818 福島県喜多方市字2丁目4664番地
TEL:0241-22-0011(代) FAX:0241-22-0116
https://kitakatagreenhotel.com



①ふくしまDC 喜多方が大人気
4月4日、ふくしまDCキャンペーン、喜多方駅での歓迎セレモニー



④6月27、28日　レトロ横丁
2日間で9万5千人の人出



⑤20年 ますます盛んなレトロ横丁
6月27日 レトロ横丁 開会式



②客足も満開、旧日中線のしだれざくら
4月の喜多方さくらまつり、旧日中線跡のしだれ桜は18万7千人の人出で大賑わい
（ボンネットバスとベロタクシーも登場）



③日橋川「川の祭典」花火大会
7月26日　二ノ一ヶ村日橋川「川の祭典」花火大会には4万6千人が



⑥鼓台23台の集合地で記念撮影

今年も喜多方はイベントいろいろ（写真特集）

喜多方大好き フラヴィオさんの写真を紹介します

Flavio Gallozzi（フラヴィオ・ガッロッツィ）さんはイタリア・トリノ生まれのフォトグラファー。5年前から喜多方に住みスタジオを構える



⑦撮影中のフラヴィオさん



⑧8月14日　会津磐梯山庄助踊り〈photo Flavio Gallozzi〉



⑨8月15日夕、太鼓台出陣〈photo Flavio Gallozzi〉



⑩夜の街の太鼓台〈photo Flavio Gallozzi〉



⑪庄助踊りのお囃子〈photo Flavio Gallozzi〉

〈写真〉①②③④＝喜多方市広報広聴係、⑤⑥⑦＝冠木雅夫、⑧⑨⑩⑪＝Flavio Gallozzi　〈人出の数字は喜多方市商工観光課〉

首都圏でのイベント

（11月以降分、情報提供＝喜多方市、観光物産協会）

◉喜多方まるごとフェス

（屋内での立食形式のイベント、有料）

11/7㊏ 時間未定　新宿カブキホール

11/8㊐ 時間未定　渋谷カルチャーカルチャー

◉なかの里・まちマルシェ（屋外での物産展）

11/7㊏～8㊐ 各日10:00～16:00

中野区役所ナカノのソトニワ







ともに過ごし、そっと還る。
流れる日々のなかで、すこしだけ立ち止まる。

蔵の街に息づく営みを、hatobaの視点で編み直して。

ここは、日常の「波」を整えるための拠点。

公式HP

〒966-0817 喜多方市三丁目４８３４（旧山中油店）
https://hatoba-kitakata.jp/
info@hatoba-kitakata.jp @hatoba_kitakata

郷の水、郷の米、
郷の技術で醸す。
それが「郷酒」
さとざけ

大和川酒造店は
郷酒を理想としています。

弥右衛門

合資会社 大和川酒造店　観光蔵：福島県喜多方市字寺町4761　℡0241-22-2233

郷土料理（こづゆ・にしんの山椒漬・棒たら煮）

地酒・喜多方ラーメン・郷土の銘菓
地方発送承ります

民芸とおみやげ
駅前
甲斐商店
(22)0033
あいづ・きたかた

河京

黄色いパッケージでおなじみの
河京の喜多方ラーメン



株式会社 河京　〒966-0902 福島県喜多方市松山町村松字常盤町2681　TEL0241-22-0875
通販はこちら　河京　検索

最近の注目店



『Là Là Gottsuo』(ララゴッツォ)
フレンチシェフが手掛ける懐かしの
「喜多方ラーメン」
2025年4月OPEN



『純手揉み中華れん』
国産小麦「夏黄金」ともち麦「もち姫」の
オリジナル麺「特製中華そば」
2025年7月OPEN



『長谷川商店』
昭和レトロがコンセプト「昭和ラーメン」&
「最強バターめし」
2025年12月OPEN



『ひとつぶの麦』
看板商品「黄金の塩そば」
2026年1月OPEN

出演番組





喜多方愛を発信して16年目になりました!

自称喜多方ラーメン伝道師 喜多方ラーメンブロガー
「こたなりん」こと 古瀧和成



「こたなりん」の喜多方ラーメンたべあるき

合言葉は「喜多方から元気を!!」

毎週土曜日 9:15～9:45 放送!

メディアミックスでお届け
Blog × Radio × Youtube

ブログ　FMきたかたHP　FMきたかたサイマルラジオ　YouTube

会津喜多方会の皆様、いつも大変お世話になっております。

私は喜多方高校卒業後、中央大学へ進学し、首都圏のラジオ局「RFラジオ日本」に就職しました。その後、Uターンして地元企業に勤務し、現在は喜多方シティエフエム(FMきたかた)で働いています。

私が「喜多方愛」を本格的に発信し始めたのは、2010年に開設したブログ『「こたなりん」の喜多方ラーメンたべあるき』がきっかけです。喜多方ラーメンが大好きだったことから、毎日更新を目標に書き続け、気がつけば16年目を迎えました。

転機となったのは東日本大震災です。喜多方は大きな被害こそ少なかったものの、風評被害により観光客や修学旅行生が激減しました。元気な喜多方を伝えたい――その思いから発信に一層力を入れ、以来、ブログの最後には必ず「喜多方から元気を!」という言葉を添えています。

年間300杯以上の喜多方ラーメンを食べ歩いていると、ラーメン文化の移り変わりも見えてきます。近年は老舗の閉店が相次ぎ、「喜多方ラーメンの危機」と報じられることもあります。しかし私は悲観していません。若い店主たちが歴史と伝統を受け継ぎながら、新しい発想で挑戦を続けている姿を数多く見てきたからです。その根底には、どのお店にも共通する「喜多方愛」があります。

こうした活動を続ける中で、多くの方々とのご縁に恵まれ、ブログだけでなくラジオでも喜多方の魅力を発信する機会をいただいています。現在は、喜多方ラーメンを紹介する番組をはじめ、喜多方産小麦「夏黄金」の魅力を伝える番組、さらに農業の面白さを発信する番組などを担当しています。食や農業、人とのつながりを通して、喜多方の魅力を全国へ届けることが私の仕事であり、何よりの喜びです。

ブログから始まった情報発信は、ラジオやYouTubeへと広がり、多くの方々に支えられながら今日まで続けることができました。これからも「喜多方から元気を!」を合言葉に、地域の魅力を発信し、一人でも多くの方に「喜多方へ行ってみたい」「住んでみたい」と思っていただけるよう努めてまいります。

今後とも、ご指導、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

合言葉は、
喜多方から元気を!

(写真＝筆者提供)



夢と希望の持てる
ふるさと喜多方

喜多方市
KITAKATA CITY

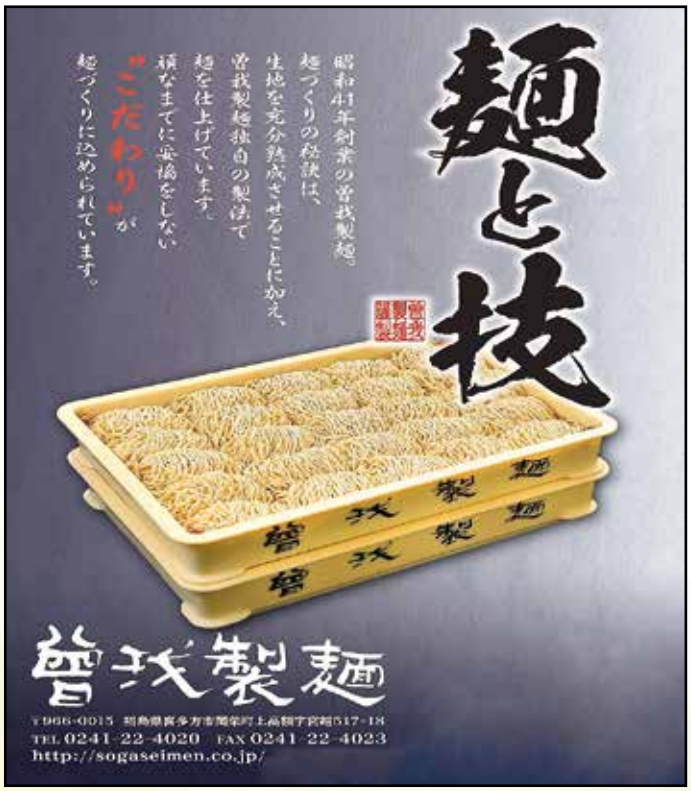


魅力あるまちづくりと持続可能な地域経済の確立

会津喜多方商工会議所

会頭　佐藤富次郎
副会頭　五十嵐　敦　　副会頭　磯部　英世
副会頭　唐橋　裕幸　　専務理事　佐藤まゆみ

〒966-0827　喜多方市字沢ノ免7331
TEL. 0241-24-3131(代)　FAX. 0241-25-7171
URL　http://www.aizukitakatacci.or.jp
E-mail　info@aizukitakatacci.or.jp





会津喜多方会のホームページ

https://www.aizukitakatakai.org/

当会のホームページでは、会報の創刊号以来のバックナンバー、喜多方ラーメンの歴史のほか最近の話題などを掲載しています。

是非、お手元のスマホやタブレット等で左のQRコードを読み取ってください。

会津喜多方会　検索